

JECC 2017年度優秀保守技術者表彰式典を開催

保守技術者の日ごろの努力を称え、感謝



挨拶する細野社長

JECCは10月10日、東京・経団連会館カンファレンスにおいて、「2017年度優秀保守技術者表彰式典」を開催した。「情報化月間」の一環として毎年行っている行事で、今年46回目を迎えた。式典には、今年度の優秀保守技術者に選ばれた25グループ、標語・感想文の入賞者が招待され、JECCの細野哲弘社長から表彰された。

表彰式典は、お客様のコンピュータ・システムの安定稼動を維持するために、トラブルを未然に防ぐ予防保守活動をはじめ、万一故障があった場合、昼夜の区別なく休日も返上し、システム復旧のために努力している保守サービス技術者や、支援関係者の日ごろの努力を称え、感謝するもの。JECCが1972年から実施している。

優秀保守技術者として表彰されたのは、ユーザー及びメーカーから高い評価を受け、推薦された25の担当保守グループのメンバー225名。各グループから代表1名が出席し、表彰を受けた。あわせて、JECCが募集した「保守

サービス向上月間標語」（応募数1万9,104編）の中から選ばれた最優秀賞1名と優秀賞3名、「保守サービスに関する感想文」（同434編）から選ばれた最優秀賞1名、優秀賞3名も表彰を受けた。

式典ではJECCの細野哲弘社長挨拶の後、表彰が行われ、来賓の経済産業省商務情報政策局の渡邊昇治総務課長、一般社団法人電子情報技術産業協会の長榮周作会長の代理として川上景一常務理事が祝辞を述べた。また、受賞者を代表して、東芝ITサービス株式会社フィールドサポートセンター 東日本フィールドサービス部 西東京サービス担当 長野サービスステーションの村田貴広氏が挨拶を述べた。

そして、東京大学薬学部教授の池谷裕二氏が「脳を知って脳を生かす」をテーマに記念講演を行い、人工知能（AI）の可能性と、その限界について語った（講演要旨は、2018年1月発行の新春号で掲載予定）。

細野哲弘社長の挨拶（要旨）

政府におかれましては、10月を「情報化月間」と定め、情報化に対する正しい理解と認識を深め、健全な情報化の進展を図ることを目的に、毎年全国各地において、多彩な行事を実施してこられたところでございます。

私共JECCといたしましては「情報化月間」にあわせ、毎年10月を「保守サービス向上月間」と定め、弊社賃貸資産の保守サービス状況を総点検し、システムの安定稼働に日夜ご努力をいただいております保守技術者の方々、並びに、保守サービス向上に関する標語及び感想文の優秀作品に入賞された方々の表彰をあわせて行っております。

昼夜を問わず、お客様のITインフラをお守りする皆様の保守サービス業務は、まさに社会にとって欠くことのできない最重要の仕事であり、そのご努力は、弊社の保守状況調査においても、お客様からの高い評価として表れております。メーカー各社様並びに保守サービス各社様のご支援と、保守サービス技術者の皆様の多大なご努力に、心より敬意を表する次第であります。

弊社は、近年のIoT、ビッグデータ、人工知能等による変革が、従来にないスピードとインパクトで進行する中、ブランドスローガンとして掲げております「ITとファイナンスを、プロデュース。」を実践する企業として、多様で先進的なサービスによるIT利活用の最適解を提供し、お客様にご満足いただけるよう、尽力してまいり所存でございますので、皆様方より一層のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

経済産業省 商務情報政策局

渡邊昇治総務課長の祝辞（要旨）

参加していただいた皆様、関係者の皆様にお祝いを申し上げます。

最近では、クラウド、ネットワーク、セキュリティ、人工知能・AIなど、新しい技術が次々に発展しています。そういった技術に対応する知識を、次々に吸収し、習得されている皆様は、非常に大変なお仕事をされていると思います。私共経済産業省では、昨今、「Connected Industries」というコンセプトを打ち出しました。一つの企業や産業にはなかなかインフレーションというのは生まれませんが、いろいろなこと、特に同じ業種だけではなく、他の業種とつながったり、個人での先輩と後輩のつながり、また、少子高齢化社会においての技術の継承等が非常に重要になります。そういうことも含めて、「Connected」という概念は非常に大切で、「Connected Industries」を推奨しているわけです。そしてその「つなげる」ためには、やはりITが必要なのです。ITでつなげていくしかありません。データを使って



「保守サービス向上月間標語」最優秀賞の表彰を受ける山根嘉雄氏（左）



「保守サービスに関する感想文」最優秀賞の表彰を受ける田熊駿介氏（左）



挨拶する経済産業省の渡邊昇治
商務情報政策局総務課長

いろいろな人をつなげる、セキュリティ対策をする、IT人材を確保する、そういったことが重要なのです。また、日本の強みを一つ言いますと、IT化して、機械に任せられるところは任せつつも、最後の最後は、人間力、現場力によって、きめ細やかに改善していく力です。IT化が進んでも、この力はますます必要とされることでしょう。

式典は今回46回目ですが、是非50回を超えて長く続けていただきたいと思います。

式典は今回46回目ですが、是非50回を超えて長く続けていただきたいと思います。

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA） 川上景一常務理事による同協会会長祝辞（要旨）

私共、電子情報技術産業協会（JEITA）は、情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）と共に、CEATEC JAPAN 2017を、日本発のSociety 5.0を世界に向けて発信する展示会として、「つながる社会、共創する未来」をテーマに開催しました。異なる業種から多数の企業が集って、CPS/IoTをフィンテック、スマートホーム、地方創生などにつなげて行く「未来の街」を展示すると共に、スマートファクトリーや人工知能などについても、最新の動向を紹介いたしました。また、初めてインドパビリオンが設けられ、大

きな見どころとなりました。CPS/IoTによりAIとデータを駆使して、Society 5.0を実現していく上では、安全・確実な情報処理基盤を常に安心して使うことができるということが不可欠になります。皆様の日頃の保守サービスを無くして、この要請に応えることはできません。

株式会社JECCの最新のお客様への保守状況調査結果によりますと、ハードウェアの予防保守への満足度は高いレベルになっていると伺っておりますが、皆様方におかれましては、ただいま申し上げた皆様の仕事の社会的重要性をご理解いただき、保守サービスのさらなる向上を通じ、Society 5.0の実現に向けて、わが国の情報技術の発展に今後とも貢献されることを、期待しております。

受賞者代表の 村田貴広氏挨拶（要旨）

本日ここに、2017年度「優秀保守技術者表彰式典」に臨み、甚だ僭越ではございますが受賞者を代表して感謝の言葉を述べさせていただきます。はじめに、本日は私共のために、かくも盛大な表彰式典を開催い



挨拶する電子情報技術産業協会の川上景一常務理事



受賞者を代表して挨拶する東芝ITサービス株式会社の村田貴広氏



表彰式典終了後に記念撮影する受賞代表者一同

ただき誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。先程来より、株式会社JECC取締役社長、細野様をはじめご来賓の皆様からの心温まるご祝辞と励ましのお言葉を賜り身に余る光栄と存じ、受賞者一同深く感謝申し上げます。

私共のグループは、長年にわたり各自治体に導入いただいております各種サーバシステムのハードウェア保守を担当しております。公共性の高いシステムも多く導入されており、常日頃から緊張感と責任感を持ち、また、お客様が安心してお使いいただけるよう細心の注意を払いながら、保守作業に従事してまいりました。

昨年度、1月から3月という短い期間で、約30自治体、

100式を越えるサーバのリプレース作業があり、期限内に滞りなく作業を完遂させた事、また、直前の予定変更や現場での追加作業に対し柔軟な対応をした事により『本当に助かりました』と、高い評価をいただきました。これは、「お客様の立場に立った品質の確保を行います」の基本方針のもと、お客様のために何ができるかを一人ひとりが考える私たちの取り組みの成果の一つであると考えております。これからも、今まで培ってきたお客様との信頼関係をもとに、さらなるシステムの安定稼働とお客様の発展に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいり所存であります。本日は誠にありがとうございました。

記念パーティー



挨拶する経済産業省の
中野剛志情報技術利用促進課長



挨拶する経済産業省の
成田達治情報産業課長

優秀保守技術者表彰式典に続いて、記念パーティーが開催された。優秀保守技術者として表彰されたグループの代表者と標語・感想文の入賞者、各受賞者の所属する保守会社の社長や役職者、来賓など多数が参加した。

はじめに、経済産業省商務情報政策局の中野剛志情報技術利用促進課長が、「現在、わが省では、非常にITが盛り上がっておりますが、IT関係で二つ、非常に重要なものがございます。一つがサイバーセキュリティー、もう一つが保守です。これらは防災と同じで、普段はありがたみを感じないものの、一度、事が起きますと大変な騒ぎになります。おそらく今後保守は、さらに重要になるに違いないと思っております。表彰された方々には、心より敬意を表したいと思っております。おめでとうございます」と乾杯の発声を行った。

続いて、経済産業省商務情報政策局の成田達治情報産業課長が登壇。「IT業界が非常に活発な動きを見せる中、政府としても、「Connected Industries」を推進しておりますが、グローバルに、人と人、企業と企業、機械と機械が結びつき、ITインフラがより重要になってきています。そして、それらを支える保守、サービスを担う皆様の役割は、ますます重要になっております。皆様のご活躍と、ご発展を祈念いたします」とお祝いの言葉を述べた。

参加者たちは、情報交換や記念撮影などをしながら、和やかな歓談のうちに親睦を深めていた。



近況報告や情報交換を行いながら、親睦が深められた